

(2枚)

各位

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。
(8/25 9時～レク)

東京電力株式会社

以下、転送

=====
8/25 (木) 9時定例レク概要

【説明内容】

①福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ
(8月25日6:00現在) 【口頭説明】

②本日の作業予定等について 【口頭説明】

<原子炉循環注水冷却>

○1～3号機の注水流量について

<各建屋等の水位>

○1～4号機T/B地下階の水位について

○1～3号機トレンチ立坑の水位について

○1号機R/B地下階の水位について

○プロセス主建屋の水位について

○雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について

○サイトバンカ建屋の水位について

<1号機>

○R/Bカバー設置工事について

<2号機>

○プロセス主建屋への滞留水の移送について

・本日、移送先を雑固体廃棄物減容処理建屋へ変更予定。

○R/B開口部ダストサンプリングについて

・本日実施予定だったが、天候不良のため中止。

<3号機>

○雑固体廃棄物減容処理建屋への滞留水の移送について

・昨日、移送停止。

○プロセス主建屋への滞留水の移送について

・ポンプ2台で移送。

○R/B上部のガレキ撤去準備工事について

○R/B開口部ダストサンプリングについて

・本日AM、実施予定。

<4号機>

○R/B上部のガレキ撤去準備工事について

○SFP代替冷却装置について

・にじみのあった当該ホースを取替予定。それに伴い、装置を一時停止。

<6号機>

○仮設タンクへの滞留水の移送について

・本日、10:00～16:00で実施予定。

<水処理関係>

○淡水化装置(蒸発濃縮)について

・アレバ3台について、濃縮塩水による試運転を継続実施。

○キュリオンについて

・本日、ベッセル3塔交換予定。

○サリーについて

・本日は、ベッセル交換なし。

<その他>

○スラッジ貯蔵施設設置工事について

○リモートコントロール重機によるがれき撤去について

○港湾関連施設改修工事について

○大型タンク設置作業について

【主な質疑】

- Q. 4号機SFP代替冷却装置のホース取替は、どの程度時間がかかるのか？
A. 前回（8/17）、ホース3本を取り替えた際は、約7時間程度かかった。
よって、所要時間は前回よりも（やや）短くなるではないかと考える。
なお、取替作業開始など、詳細時間についてはわかり次第お知らせしたい。

以上

【情報共有】

2枚 (SF管理メモ)

宮邸、NISA班 ← アリス対応チーム

東京電力株式会社

8/25 (木) 福島地域支援室 15時定例レク概要 (本日は15時30分開始)

【説明内容】

①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (8月25日午前10時現在) 【資料配付】

②福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ 【口頭説明】

③津波の安全性評価に係る主な経緯 【資料配付】

④本日の作業予定等について 【口頭説明】

<2号機>

・トレンチ立坑たまり水の移送先変更について

<3号機>

・R/B主要変圧器の冷却用油配管からの油漏れについて

・炉心スプレイ系による原子炉注水の延期について

<4号機>

・SFPフレキシブルホース取替え延期について

<6号機>

・タービンたまり水の移送について

<水処理装置関係について>

・淡水化装置 (蒸発濃縮) について

・アレバ3台については試運転継続中

【主な質疑】

Q. モデル10での8.7~9.2mの津波の数値を配付資料に落としていないのはなぜか。

記載したものが欲しい。

A. 確認してお答えしたい。

Q. 当初の想定5.4~5.7mは誤りだったのか。

A. 当初の妥当な評価であり、誤ったというものではない。

Q. 8.7~10.2mと8.7~9.2mという試算は、それぞれ別な計算で算出したものか。

A. 三陸沖と貞観津波をモデルに計算したもの。

Q. 10.2mの津波に対する対策を講じていれば被害は少なくてすんだのではないか。

A. 試算は明確な条件がなく自主的条件下での解析であり専門家の検討が必要と考えていた中の評価に過ぎない。

はっきりとは言えないが、多少の被害は軽減できたかもしれないが、今回の津波は約15mであったため10m対策を講じていてもどうなったかは何とも言えない。

Q. 3uR/Bの主要トランスは使用中なのか。また、油は引火性のものか。
A. 使っていない。油は引火性のものではない。

Q. 無人重機の作業付近には、触れないような目印などはないのか。
A. 特にない。ガレキを隔々までやっていく際にたまたま傷つけたと考えられる。

Q. キュリオンのベッセルは取替え中か。
A. その通り。

Q. ダストサンプリングの予定は。
A. まだ決まっていない。

--- 《一度ブレークし、引き続き16:10から「追加仮払補償金」レク実施》 -----

【説明内容】

⑥避難等による損害への「追加仮払補償金」のお支払い対象追加について【資料配付】

【主な質疑】

Q. 補償対象者の人数は。
A. 約12,000人と考えている。

Q. 何を基準に算出しているのか。
A. ホームページに記載されている人数を基に算出した。

Q. 生活の本拠が別にある場合等はどうやって判断するのか。
A. 個別に確認、相談させていただくようになる。

以上

8/25 (木) 福島地域支援室 19時30分定例レク概要

【説明内容】

- ① 「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (8月25日午後3時現在)」 [資料配付]
- ② 「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第百五十三報)」 [資料配付]
- ③ 「福島第一原子力発電所付近における海水中の放射性物質の核種分析の結果について (第百五十五報)」 [資料配付]
- ④ 「福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水に含まれる放射性物質の核種分析の結果について (8月24日採取分)」 [資料配付]
- ⑤ 「福島第一原子力発電所タービン建屋付近のサブドレンからの放射性物質の検出について (8月24日採取分)」 [資料配付]
- ⑥ 「集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果」 [資料配付]
- ⑦ 「福島第一原子力発電所構内における土壌中の放射性物質の核種分析の結果について (続報30)」 [資料配付]
- ⑧ 「放射性物質の核種分析の結果の一部訂正について」 [資料配付]
- ⑨ 「福島第一原子力発電所1～4号機資料池燃料プール水質測定結果 (2011年8月採取分)」 [資料配付]
- ⑩ 「福島第一3号機原子炉建屋上部における空気中放射性物質の核種分析結果」 [資料配付]
- ⑪ 本日の作業状況、明日の作業予定等について [口頭説明]
 - 循環注水冷却について
 - <各建屋等滞留水の水位>
 - 1～4号機T/B地下階について
 - 1～3号機トレンチ立坑について
 - 1号機R/B地下階について
 - プロセス主建屋について
 - 雑固体廃棄物減容処理建屋について
 - サイトパンカ建屋について
 - <1号機>
 - R/Bカバー設置工事について
 - ・ 本日より鉄骨建方開始、明日も継続
 - ・ 明日、資機材海上輸送 (小名浜→サイト)
 - <2号機>

○R/Bダストサンプリングについて

- ・本日延期、次回調整中

○滞留水の移送について

- ・10:03 プロセス主建屋への移送から雑固体廃棄物減容処理建屋への移送へ変更(切替)

<3号機>

○プロセス主建屋への滞留水の移送について

- ・ポンプ2台で移送中
- 主要変圧器の冷却用油配管の損傷(油漏れ)について
 - ・11:30、油漏れ確認
 - ・12:44、油漏れの停止を確認
 - ・絶縁油は通常時170kL入っており、かなりの量漏えいしたと思われる。
 - ・地下に設置された防油堤に収まっていると考えている

<4号機>

○SFP代替冷却について

- ・ホースからのにじみ(漏えい)については30秒に1滴であることから継続して状態を監視していく
- R/B上部のガレキ撤去について

<6号機>

○仮設タンクへの滞留水の移送について

- ・本日10:00~16:00移送実施

<水処理関連>

○淡水化装置(蒸発方式)アレバ3台の試運転について

- ・濃縮塩水による試運転を継続実施、明日も継続予定
- セシウム吸着装置(キュリオン)について
 - ・本日ベッセル3塔交換(フラッシングなし)
 - ・明日も取換え予定
- 第二セシウム吸着装置(サリー)について
 - ・明日、ベッセル1塔交換予定(フラッシングあり)
- スラッジ貯蔵施設の設置について
 - ・基礎工事継続

<その他>

○リモートコントロール重機でのガレキ撤去について

- ・コンテナ6個分回収、明日も継続
- 港湾関連施設の改修工事について
- 大型タンク設置作業について
 - ・本日、100m³×5基搬入
 - ・明日も継続実施予定

※以下は、レク時に配布せず「投げ込み」のみ実施

- 「福島第二原子力発電所プラント状況等のお知らせ(8月24日 午後3時現在)」

- 「福島第一原子力発電所の状況」

【主な質疑】

Q. 3号機主要変圧器の冷却用油配管からの油漏れは、現在滴下程度とのことだが、どのような状況だったのか。

A. 漏えい発見当初は、直径約10cm程度の孔から約1mの高さの油柱であった。

Q. 変圧器の油は全て流れたのか。

A. 全てではないが、かなりの量がもれ出したと思われる。しかし、防油堤内に収まっていると考えている。

Q. 土壌中のガンマ線核種分析結果において、Te-129が検出されているがどのような評価なのか。

A. 今回は検出されたが前回は検出されず、出たり出なかつたりといった認識。今までも検出されていたことはあったが、いずれも放射能濃度は低く影響はないものと考えている。

以上